



アレルギー性鼻炎の手術治療 コブレーターシステムを導入しました

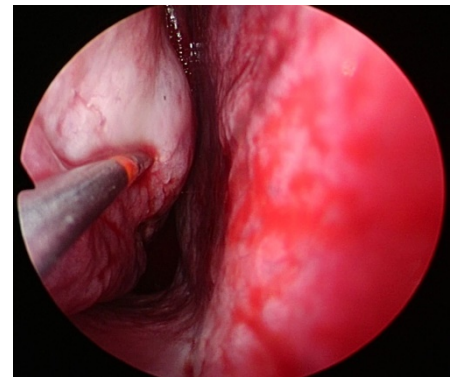
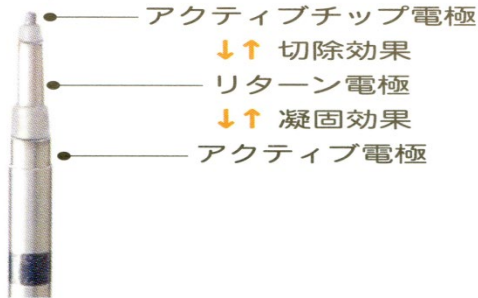
アレルギー性鼻炎や肥厚性鼻炎の手術治療に対しては従来レーザーや超音波メスなどが用いられてきました。当院では2017年にコブレーターシステム（コブレーターⅡ 株式会社アダチ）を導入し、良好な効果を得ております。

コブレーター本体



従来の手術は下鼻甲介粘膜の焼灼を行うもので、頻度は少ないながら出血や痂皮形成による治療遷延の問題などがありました。コブレーターは高周波によるバイポーラシステムで従来の手術より熱損傷が少なく、下鼻甲介粘膜下を穿刺し焼灼するため、より安全性の高い手術が可能です。

ワンドの構造



手術実績

年	手術数
2017年	34
2018年	31
2019年	39

1泊2日の入院局所麻酔手術となりますが、患者さんの負担も大きいものではありません。

アレルギー性鼻炎で薬剤治療などでも改善がなくお困りの患者さんがいらっしゃいましたら是非ご相談ください。

耳鼻咽喉科 山辺 習

寿泉堂総合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂総合病院 地域連携室 ☎024-927-0760（直通）または

☎024-932-6363（代表）をお願い致します。